

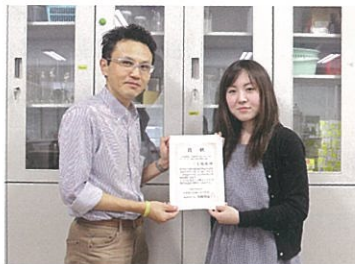
神戸女子大学の卒業生 日本薬学会で優秀発表賞を受賞

平成26年度に神戸女子大学健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科を卒業し、現在、東北大学大学院農学研究科 生物産業創成科学専攻に在籍している三上 優依さんは、平成27年3月に開催された「日本薬学会第135年会」で優秀発表賞を受賞しました。

この賞は、吉川 豊教授の指導の下、卒業研究になった「加温熟成した植物性食品における α -グルコシダーゼおよびACE阻害活性」という研究題目を日本薬学会で発表し、高く評価されたことによるものです。

現在は、動脈硬化の原因となる酸化したLDL(低比重リポたんぱく質)についての研究に明け暮れる毎日ですが、充実した生活を送っているとのこと。

夏休みには母校を訪れ、後輩たちに研究方法や実験についてアドバイスを励ましてくれました。



吉川豊教授に受賞の報告をする三上優依さん



後輩の学生にアドバイスを三上さん

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

「教員養成高度化システムモデルの構築・発信」遠隔講義システムが本格的に

連携大学

兵庫教育大学
神戸親和女子大学

兵庫県立大学
武庫川女子大学

神戸学院大学
神戸女子大学

文部科学省の平成24年度 大学間連携共同教育推進事業に兵庫教育大学が代表校となり応募した「教員養成高度化システムモデルの構築・発信」は、大学院に教職課程をもつ上記の大学が連携し、それぞれの実績、特色、資源を生かした相互補完と協働により、高度な教員養成システムを実現することを目標にしています。

この事業は、連携大学院で開講されている幅広い分野の講義が受けられるので、教員を目指す大学院生に好評です。

採択から3年が経過し、文部科学省は平成27年6月に中間評価を発表しました。本事業は5段階評価で上から2番目の「計画通りの取組みであり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる」という評価を受けました。

神戸女子大学大学院では、平成26年度前期に兵庫教育大学大学院と単位互換科目の遠隔講義を始め、平成27年度後期からは、各連携大学院と相互に遠隔講義を開始しました。本学では、次の講義を学生に提供しています。

文学研究科 英文学専攻 アン・ケーリ教授 「国際言語文化学演習b」
家政学研究科 食物栄養学専攻 狩野 百合子教授 「栄養化学特論」



アン・ケーリ教授による遠隔講義



狩野百合子教授による遠隔講義

管理栄養士を目指す学生 地元企業と産学連携でメニュー考案

神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程の学生は、「食」と「健康」のエキスパートである管理栄養士として活躍することを目標に、日々勉学に励んでいます。これまでに学んだ食材や栄養に関する知識、調理方法を生かして、地元企業山陽電鉄のグループ会社と連携し、多くの方に喜ばれるメニューを開発しました。

舞子ホテル 「健康」がテーマのランチメニュー

同課程の林 利恵子准教授の4年生のゼミ生9名が、若い感性を生かしてパスタとドルチェ(デザート)を考案。株式会社舞子ホテルのランチメニューに登場しました。同ホテルでは、近年話題となっている健康志向のメニューの創作に取り組む中で、本学との共同企画が実現しました。

学生たちが考案したパスタは、ヘルシーで彩りの良い季節野菜にEPA、DHA(注)をたっぷり含むまぐろも加わり、レモンの酸味が食欲をそそります。ドルチェは野菜を取り入れた豪華な3種盛りです。

管理栄養士を目指す学生ならではのアイデアが、幅広い年齢層の方に喜ばれました。



林利恵子准教授(前列中央)とゼミ生

(注)EPA(エイコサペンタエン酸)、DHA(ドコサヘキサエン酸)…動脈硬化の抑制や血栓症予防の作用があるといわれている。



発売期間:平成27年10月15日(木)~11月30日(月)

メニュー:まぐろと季節野菜の冷製パスタ(写真左)、
ドルチェ(写真右、右から時計回りに)
ごぼうのチョコレートケーキ、
かぼちゃのカタラーナ、
トマトの豆腐レアチーズケーキ

山陽そば 若い女性にも喜ばれる新感覚の洋風うどん

同課程の橋本 加代准教授の4年生のゼミ生8名が、大阪山陽タクシー株式会社が経営する「山陽そば」とコラボレーションを行い、新感覚の洋風うどんを開発しました。

駅そばは、気軽に利用できる便利な飲食店ですが、男性客が中心で客層が限られています。同社から、「若い女性にも駅そばの利点をPRし、幅広い年齢層のお客様に来ていただけるようなメニューを加えたい」との考えのもと、本学との共同企画が実現しました。

「短時間で調理でき、年間を通し調達可能な食材を使う」「駅そば店舗独自の厨房で調理できる」などの条件をクリアして、2種類のうどんを完成させました。現在も好評発売中です。



メニューを考案したゼミ生と橋本加代准教授(右)



発売期間:平成27年11月1日(日)~
平成28年3月31日(木)

商品名:イタリアントマトうどん(左)
とろけるチーズのカレーうどん(右)

価格:税込450円

神戸女子大学 「高齢者のためのADL体力アップ講座」



須磨キャンパス：タオルを使った体操

「高齢者のためのADL体力アップ講座」は、神戸女子大学健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科の重福 京子准教授が行っている人気の公開市民講座で、60歳から80歳までの地域の方を対象としています。

本講座は、平成14年度に神戸市と提携し、「健康こうべ21」推進事業の一環として須磨キャンパスで始まった高齢者の健康づくり講座「ADL：Activities of Daily Living 日常生活動作活性のための体操講座」が源流です。平成18年の健康福祉学部開設に伴い、ポーアイ4大学連携事業の「健康推進プロジェクト」のひとつとして開講されました。

現在は、看護師の資格をもつ教員とスポーツライフマネジメント部の学生がアシスタントを務め、1年間に須磨キャンパスで10回、ポートアイランドキャンパスで20回開講しています。

“身の周りのことは自分で出来る体力”の維持・向上を目標に、有酸素運動の「ソフトエアロビクス」「ストレッチ」、筋力トレーニングの「自体重を用いたトレーニング」「チェアエクササイズ」などを行い、家庭でも出来る運動を提供しています。

受講者には、毎回体操の前に血圧測定をして個人カードに記録し、体調

の自己管理を行い、

無理せず楽しく参加していただくことを心がけています。

重福准教授の軽妙な語り口による指導で、軽快なテンポの音楽や時には癒しを感じるゆったりしたメロディーに合わせて、自分のペースで運動ができます。“新たな仲間づくり”の場になることも重要な要素であり、トレーニングにレクリエーションも取り入れ受講者同士のコミュニケーションが取れるように工夫しています。

4年以上の継続者では、文部科学省の新体力テスト総合評価において、体力テストの数値は低下していないという結果が出ています。

スタッフの教員と学生は、受講者が毎回、爽やかな笑顔でお帰りになるのが励みになり、講座を運営していく活力の源になっています。



須磨キャンパス：血圧を測定する受講者の皆さん



ポートアイランドキャンパス：ゆったりとしたストレッチを取り入れた動き



須磨キャンパス：椅子を使った体操



ポートアイランドキャンパス：輪になってゲームも取り入れて



講師の重福京子准教授(前)と
スポーツライフマネジメント部の学生